

●竹サインペン製作サークルの集まりが開かれました 6月20日

木下さんを筆頭に4人が集まりました。ゴルフ場で働く友人からポケットに差し込める装置が無いのが欠点だとの助言を聞いたので、懸命に考えた結果鋸の厚さ変更することで改善が可能だとすることでした。続いて竹島修二さんから提供いただいた可動幅2cmの手動プレス機で長さ8cmの竹を割れるかの検討に進みました。①梃子を応用した唐臼（昔の米つき機）を使った可動範囲を長くして竹を縦に割る方法、②は竹を横向けに割るための10cmの刃物を製作して使用方法に行き付き、みんなの結論は刃物と取付け治具の製作が可能なら横に割る方法が採用されることになりました。刃物と治具の製作は木下様が工夫することで落ち着きました。

●植物部会が開かれました 6月21日(金)

21日は生育調査予定日でしたが、雨天だとの予報だったので、室内での相談会に予定を変更して7人が集合しました。最初に里山の会の常務理事の山村から植物部会の活動は27年前から里山の会の諸活動の中心を担ってきた活動で、今年のサークル活動を取り入れる方針でも大きな役割を果たしてきていること。そして国交省・淀川河川事務所からの業務受注作業は会員減少のなかで得られる受注費が、活動継続の財源として大きな役割を果たしていることを報告されました。続いて業務内容に議論が移り数年希少植物が発見できていない場所の扱いで、消えることもあるが、再生してくることもあるので判断が難しいと光田先生から助言がありました。対応としては数年にわたる正確な記録をもとにランク付けをして判定していくことになりました。イヌハギの貴重さが強調されて、種取りについては開放花の種を採取するべきであるとの助言がありました。5月に実施したオオバクサフジの調査で新しい生息地が発見できましたが、除草作業地が増加するので連絡しなかったことがあるとの発言がありました。私たちの活動（里山の会）は貴重植物の保全が目的にあるので躊躇することなく報告を呼びかけました。定例生息調査活動は毎月第3金曜日に制定していること。そして7月・8月は猛暑の関係で定例調査は控える事にして伊藤様が実行することになりました。第3回植物部会は9月5日（木）13:30分から秋の植物観察会について話し合うことにしました。補足的に山下茂さんの発言を付け加えておきます。

ある時参加者からレンリソウの生育場所を教えてくださいと話がされた。何の目的かと聞き直すと、とるため（取る、撮る）や！とのことでしたので場所は教えられないとお断りをしました。とありました。心無い人によって盗る行為が横行しているようです。

●夏の昆虫観察会(7月6日)、夜の昆虫観察会(7月27日)の原案の相談が進む

総会で決定したように、7月の大きな取組は里山農園付近での昆虫観察会です。毎年人気の取組で多くの親子さんに参加いただけてきました。最初の頃の取組ではクワガタは見ることは稀でした。近頃はトラップを仕掛けると驚くほど集まってきます。その一方でオオムラサキの成虫は最近出会うことがなくなりました。一昨年と昨年の12月、冬の昆虫観察会では幼虫が見つかっておりません。オオムラサキの食草のエノキは十分ありますが、樹液の出るクヌギが少なくなり、加えて猛烈な暑さの夏があるなど環境が変化してきているからでしょうか。里山の会はオオムラサキが生育していることを売り物にしてきましたが、近頃は残念なことになって来ました。普賢寺はオオムラサキとヤマトサンショウウオの生息が継続する生物の宝庫としていたものですが、残念なことです。こうした中で今年は1996年から昆虫関係でお世話になり続けてきている前近畿大学教授の桜谷保之先生に名古屋市からお越し願うことになっています。今年は皆さんの疑問や質問にお答えしていただけることになっています。日頃どうなっているのだろうと思っておられることをお尋ね下さい。皆さんのご参加をお待ちしています。案内はホームページからご覧下さい。

●ジャガイモ掘りをしました。 6月22日(土)

梅雨入りでジャガイモ掘りは無理ではないだろうかと思っていましたが天気はもってくれました。理事長の大村さんからニュース記事が届きましたので紹介させていただきます

3月20日にジャガイモ(男爵とメークイン)をそれぞれ3kg植えました。今月上旬に収穫した玉ねぎは大玉が少なく昨年に比べて不作であったため、不安になりながらの収穫作業でした。森島副理事長による作業予定と注意事項に始まり8名(お子さん含む)で作業を行いました。結果は約60kgを収穫することができました。ただ、売り物に向かないような小さいサイズや腐りだしたものも多くありました。1kgあたり250円(会員さん価格)で販売させていただき、17kgをご購入いただきました。ご購入いただきました皆様、ありがとうございました。また、ナスやピーマン、万願寺の周囲の除草作業も行いました。

これから夏野菜のピーマン、万願寺、ナスの収穫がはじまり、収穫した野菜は第2・第4日曜日8時から開催される団地朝市で販売します。会員が気持ちを込めて育てた野菜たちです。ご入用の方は森島副理事長や農園で活動されている方々にご連絡下さい。また、梅雨時期に入りましたのでジメジメと湿度も高い日々が続きます。マムシといった毒蛇だけでなく多くの生き物にとって過ごしやすい季節になってきました。被害に合わぬよう気をつけて作業をして下さい。



作業開始前の様子



収穫作業の様子

●同志社大学サッカー部の地域貢献委員長の関さんから連絡が届きました。紹介させていただきます。

お世話になっております。同志社大学サッカー部の関駿太郎です。この度は、里山の自然(会誌56号)を送付していただきありがとうございます。様々な活動について楽しみながら拝見させていただきました。当団体との活動についても掲載いただき大変嬉しかったです。今年度もぜひ貴団体のボランティアに参加させていただきたいです。そこで、9月中で一緒に活動できるボランティア等がありましたら、ぜひ参加させていただきたいです。お手数ですが、ご返信いただければ幸いです。何卒よろしくお願い致します。

【関 駿太郎(2024年度地域貢献委員長)】

●ヤマトサンショウウオの生息池の写真6年分が整理されました。

日差しの変化と植物の茂り方が分かります。写真右側の淡竹の竹やぶで花が咲き、ほとんどの竹が枯れてきて、陽が差し込むようになり、植物が繁茂してきたようです。



2019年6月10日



2020年6月6日



2021年6月8日



2022年6月4日



2023年6月5日



2024年6月3日

●長期予報ではこの夏昨年以上に暑く長くなりそうです。

梅雨入りのなかで25度を超える夜があり昼間は35度になるとのことです。いずれにしても熱中症対策を十分にしてください、日射病・熱中症に気を付けましょう！